

福岡大学病院 呼吸器内科 卒後臨床研修プログラム

I. 特 徴

福岡大学病院呼吸器内科は呼吸器内科専門医としてのオールラウンドな知識と技量を備えた臨床医を育成することに最大の努力を注いでいます。高齢者社会に伴い呼吸器専門医は臨床現場において、ますますその重要性が高まっています。また呼吸器専門医を目指す方には必須の、呼吸器専門医を目指さない方でも医師として要求される、画像の読影、呼吸生理学、観血的検査や治療手技などの基礎的技能を学べます。

II. 診療科概要

肺癌、間質性肺炎（膠原病関連肺疾患を含む）、COPD、気管支喘息、呼吸器感染症、睡眠時無呼吸症候群、肺循環障害、呼吸不全と、幅広い疾患をカバーします。腫瘍学、免疫・アレルギー学、生理学、感染症学などさまざまな知識を必要とし、今後の臨床修練に役立ちます。

III. 研修目標

呼吸器疾患は多岐に渡っています。主な疾患である肺癌、間質性肺炎、COPD、気管支喘息、呼吸器感染症をすべて主治医として経験し、それらの診断と治療を学ぶことを目標とします。

- ① 胸部 X 線、CT 読影、
- ② 呼吸機能検査の手技と解釈、
- ③ 気管支内視鏡検査の補助、所見解析、
- ④ 胸腔穿刺と胸腔ドレナージの手技習得、
- ⑤ 肺癌化学療法、
- ⑥ 呼吸器感染症治療、
- ⑦ 呼吸不全患者に対する人工呼吸管理

などを具体的な研修目標としています。

IV. 研修内容

呼吸器内科としての研修期間は 2 ヶ月であり、その間に病棟で常時数名の患者を受け持ちます。それぞれの研修医には 2 名（助手、助教もしくは講師）の指導医が付き指導に当たります。また病棟医長がスーパーバイザーとして指導します。

1. オリエンテーション：研修の最初の 1 週間に病棟での勤務規定を中心にオリエンテーション
2. 病棟カンファレンス：入退院紹介と問題症例の検討会を行います。また、腫瘍、びまん性疾患、COPD、感染症のカンファレンスを行います。
3. 肺癌カンファレンス：毎週月曜日の夕方 6 時より、呼吸器内科病棟にて呼乳小外科、放射線科と合同で行います。（第 2 月曜は腫瘍内科、病理部も参加）
4. 回診：毎週火曜日午前に行います。
5. 抄読会：毎週木曜日の夕方に行います。
6. 外来研修：指導医の指導のもとに交代で外来患者の診療にあたり、外来診療の基礎を学びます。
7. 学会発表と学術雑誌への投稿：研修期間は将来の内科認定医の資格取得の重要な期間です。2 ヶ月の研修期間中、特に勉強になった症例について、学会発表、学術雑誌へ投稿します。

V. 週間スケジュール

	8時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
月曜日		病棟・外来研修							病棟カンファレンス		肺癌カンファ
火曜日		病棟カンファレンス・回診			説明会	病棟・外来研修					
水曜日		病棟・外来研修							病棟カンファレンス		
木曜日		病棟・外来研修							病棟カンファレンス	抄読会	
金曜日		病棟・外来研修							病棟カンファレンス		

VI. 当科の医療安全等に係る研修医教育

以下の教育を適宜行います。

1. 呼吸器病学入門
2. 抗癌剤の使い方、副作用対策
3. 告知と臨床試験
4. 気管支鏡検査の実際、BAL
5. 動脈血液ガス分析、人工呼吸器の使い方
6. 肺癌の診断と治療
7. 肺機能、喘息、COPD
8. 呼吸器感染症の診断と治療
9. びまん性肺疾患の診断と治療
10. 肺移植
11. SAS の診断と治療
12. 胸膜疾患の診断と治療

VII. 研修プログラム責任者

福岡大学病院 呼吸器内科 診療部長（教授） 藤田 昌樹

